

2010年10月刊行

仏画の尊容表現

泉 武夫（東北大学大学院教授）著

B5判上製函入 カラー口絵二四頁 本文四二八頁

定価三二,五〇〇円（本体三〇,〇〇〇円＋税）

ISBN978-4-8055-0635-6 C3071

本書は、日本絵画史の中でも最盛期の一つをなす平安から鎌倉時代にかけて制作された仏画を対象としてその表現の諸相を分析し、作品の特色、属性、様式史的現象を浮かび上がらせ、総合的理解に至ろうとすること、仏画に描き出された尊容の表現史を論じる。

中央公論美術出版

序章 王朝仏画と儀礼

第一部 宗教的構想と形への表われ

第一章 五大力菩薩画像をめぐる基盤的考察

第二章 東寺のイコノロジー——空海の戦略と美術——

第三章 興福寺曼荼羅の図様と表現

第二部 秘密修法と絵画

第一章 青不動——画像と行法をめぐる形と意味——

第二章 愛染王法と千体画卷

第三章 如意輪観音画像考——平安仏画の一遺例——

第三部 異色の尊容とその背景

第一章 異色の弥勒菩薩画像——弥勒図像の一系譜——

第二章 伝船中湧現観音像の図像と修法

第三章 不動明王三童子五部使者像

第四章 竹生島弁才天像

第四部 図像の意味とその位置づけ

第一章 唐本図像の世界

第二章 笠置寺磨崖線刻菩薩像の制作時期をめぐる

第三章 栖霞寺蔵伝虚空蔵画像について——景教聖像の可能性——

第五部 荘嚴に込められた思想

第一章 黒漆八角宝珠箱の金銀泥絵像とその意味

第二章 金剛峯寺蔵中尊寺経の金銀泥見返絵

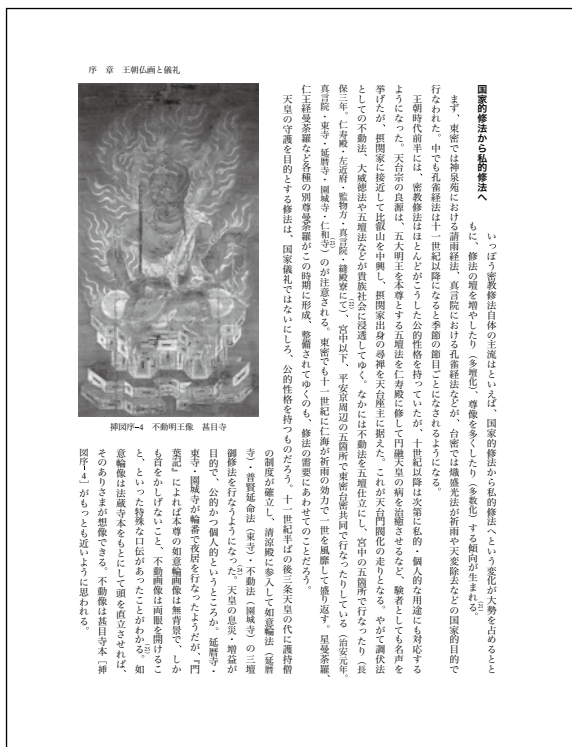
第三章 仏画にみる金銀使用

第四章 仏画における皆金色表現の成立

第五章 仏画の荘嚴と雲母の使用

成稿一覽／あとがき／索引

組見本 (40%縮小)



著者略歴

泉 武夫 (いずみ・たけお)

東北大学大学院文学研究科教授。著書に『国宝釈迦金棺出現図』(京都国立博物館、1992年)、『仏画の造形』(吉川弘文館、1995年)、『国宝 六道絵』(共著、中央公論美術出版、2007年)など。

中央公論美術出版刊行 関係書籍

国宝 六道絵

泉 武夫／加須屋誠／山本聡美 編著
金井杜道 撮影

B4判上製函入 口絵176頁 本文204頁 価格37,800円(税込)

滋賀県大津市聖衆来迎寺に伝わる国宝六道絵十五幅全てを大判のカラー図版と、各幅の詳細な場面解説を行う。三名の研究者による「伝来と研究史」「技法と表現」「図様と位置づけ」に関する論文を掲載。『往生要集』などの関係資料を収録した、美術史だけでなく仏教史、中世史においても重要な第一級史料研究の決定版。

ISBN978-4-8055-0556-4

お取扱いは

中央公論美術出版

http://www.chukobi.co.jp

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-8-7

TEL03-3561-5993 FAX03-3561-5834